

#6 *Team LeMans Audi R8 LMS*
Yoshiaki Katayama
Roberto Merhi Muntan



大会概要

2022年 SUPER GTシリーズ 第7戦

大会名称

2022 AUTOBACS SUPER GT Round7 FAV HOTEL AUTOPOLIS GT 300km

開催日時

10月1日 土曜（予選） 10月2日 日曜（決勝）

開催サーキット

オートポリス（1周：4.674km）

所在地：大分県日田市上津江町上野田1112-8

同時開催レース

2022 FIA-F4選手権 第11戦・第12戦

主催

株式会社GTアソシエーション（GTA）／オートポリス倶楽部（APC）／株式会社オートポリス

公認

国際自動車連盟（FIA）

一般社団法人 日本自動車連盟（JAF）

認定

株式会社GTアソシエーション

後援

経済産業省／国土交通省／国土交通省九州運輸局／自由民主党モータースポーツ振興議員連盟／大分県
／日田市／竹田市／菊池市／阿蘇市／別府市／由布市／大津町／日田市観光協会／竹田市観光ツーリズム
協会／菊池観光協会／阿蘇市観光協会／肥後おおづ観光協会／別府市観光協会／由布市まちづくり観
光局／大分市観光協会



◆ 参戦体制

■ ドライバー



片山 義章
YOSHIAKI KATAYAMA

生年月日 1993年11月13日
出身地 愛知県
身長 168cm
体重 69.3kg
血液型 RH+O



ロベルト メルヒ ムンタン
ROBERTO MERHI MUNTAN

生年月日 1991年3月22日
出身地 スペイン
身長 178cm
体重 70kg
血液型 RH+O

■ 監督



小倉 啓悟
KEIGO OGURA

■ スタッフ

チーフエンジニア 近藤 良一
チーフメカニック 田村 貴史

■ スポンサー

ザーレン・コーポレーション株式会社	株式会社デジテックエイチピー
TONE株式会社	ウエスタンデジタルジャパン株式会社
ニチアス株式会社	医療法人さかくら耳鼻咽喉科
エバー株式会社	ARMS株式会社
カトー機械株式会社	ブランデューズ株式会社
城東電機株式会社	株式会社PACIFIC RACING TEAM
コスモ開発株式会社	B.R.M / Viron Japan 株式会社
高新自動車学校	見田工作株式会社
株式会社ジョイフル設備	SPIN OFF
青山エレベーター株式会社	有限会社ます徳
岡田金属株式会社	株式会社玉井設計
エルアイビーリゾート株式会社	小原建設株式会社

◆ 予 選

天候 晴れ

コース状況 ドライ

気温 25℃ (GT300クラスQ1開始時)

路面温度 40℃ (GT300クラスQ1開始時)

予選開始 15時18分 (GT300クラスQ1-B組開始)



前回の菅生戦では公式練習と決勝直前にエンジンのトラブルに見舞われ、16位に終わったTeam LeMansは、今シーズン3度目の入賞を目指して、Aドライバーの片山義章、Bドライバーのロベルト・メルヒとともに、オートポリスでの戦いに挑んだ。

前戦終了後、チームは、トラブルの対処をAudi Sportと協議してきたが、具体的な対処法が示されたのがレース直前となり、レースが行われるオートポリスでまずはその対応に当たることになった。

#6 Team LeMans Audi R8 LMS

予選結果：DNS 出走せず

10月1日、予選に先立ち、9時20分から行われた公式練習ではエンジントラブルが完治したように思っていた#6 Team LeMans Audi R8 LMSだが、11時55分からの（サーキット）サファリに参加中に、突如エンジントラブルが再発した。

この事態を想定していたチームは、すぐにその対応に当たる。しかし、予想以上に手間取り、予選開始までに作業が終わらず、メルヒが参加予定のQ1-B組は不出走。翌日の決勝レースは最後尾の27番グリッドからスタートすることとなった。

◆ 決 勝

天候 晴れ

コース状況 ドライ

気温 26℃ (スタート時)

路面温度 46℃ (スタート時)

決勝レース開始 13時41分

レース予定周回数 65周 (約300km)

#6 Team LeMans Audi R8 LMS (片山&メルヒ選手)

決勝結果：20位 (所要時間：1時間55分42秒517=60周消化/ベストラップ：1分47秒057=メルヒ選手)

迎えた決勝当日の10月2日、公式予選後、唯一の走行セッションとなるウォームアップではエンジントラブルの再発が確認されなかったが、完全に不具合が解消されたという確証がないチームは、このままトラブルなくレースを走りきれるよう、祈るような思いで決勝に臨んだ。

2周のフォーメーションラップのあと、13時41分に65周のレースはスタート。第1スティントを担当する片山は、オープニングラップで23番手までポジションを上げ、3周目には24位に。その後は周囲とほぼ同じペースの1分48秒台で周回を重ねていくが、オーバーテイクが難しいオートポリスでは最後尾スタートのハンディが大きく響き、自力でポジションを上げるのは困難を極めた。それでも片山は着実な走りでポジションを落とすことなく28周を走りきり、後半のスティントをメルヒに託した。

タイヤ交換と給油作業ののち、#6 Team LeMans Audi R8 LMSとともにコースに戻ったメルヒは、実質23位、ドライバー交替済みのマシンでは18番手というポジション。その後は上位陣とほぼ互角の1分47秒台という速いペースを維持し、約10周のあいだに2台をオーバーテイクした。

ところが、ピットストップの際に給油のトラブルが発生し、燃料が入りきっていないことが発覚。そこで39周を終えたところでチームはロベルトをピットに呼び戻し、再度給油作業を行う。これにより#6 Team LeMans Audi R8 LMSは22位にポジションダウン。それでもロベルトは再びハイペースで周回を続け、最終的には20位までポジションを上げて完走を果たした。

エンジンと給油のトラブルにより下位に沈む結果となったAudi R8 LMS。最終戦のもてぎまでにはマシンのコンディションを整え、有終の美を飾るべく、表彰台獲得に挑む。



片山 義章 選手のコメント

予選に出走できず、最後尾からスタートしたのが、レース中も尾を引いてしまいました。レースペースは良かったのですが、ここオートポリスはオーバーテイクがしにくいコースなので、前が詰まってしまうとタイムも出せず、さらに給油のトラブルもあって、良い結果を残すことができませんでした。予選さえきちんと走れていれば、ポイントを獲得できたと思うと、ロベルトも僕も残念な気持ちでいっぱいです。次の最終戦に向けては気を取り直して挑むしかありませんし、これまで以上に集中力を高めて頑張りますので、よろしくお願いします。



ロベルト・メルヒ・ムンタン選手のコメント

不運が続いた週末でした。鈴鹿からマシンが上り調子で、前回の菅生とこのオートポリスでは良い結果が出せると期待していました。しかし、菅生ではピットからのスタートになり、オートポリスはエンジンのトラブルで予選を走れず、レースは最後尾からスタートに。さらに、ピットストップの際には給油のトラブルがあって、今回も思うようなレースができませんでした。マシン自体にはトップレベルの速さがあるだけに、せっかく良い結果を出すために来日している私としては残念でなりません。次のもてぎはラストチャンスになるので、チーム一丸となって良い結果を勝ち取りたいと思います。



小倉 啓悟 監督のコメント

今回は、対策を施したエンジンが予選前にトラブルを再発したり、決勝でも給油のトラブルで余計なピットストップを行わざるをえないなど、チームとして反省すべき点が残るレースになってしまいました。一方、そんな中でもドライバーは良いパフォーマンスを発揮してくれていますので、チームとしてはそれを結果につなげたい気持ちでいっぱいです。次のもてぎは最終戦ですので、来シーズンにつながるような結果を出せるよう、しっかりと準備をして、2022シーズンを締めくりたいと思います。



